

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ROTARY SERVING HUMANITY

～人類に奉仕するロータリー～

2016-2017年度 国際ロータリー会長 ジョンF. ジャーム



2016-2017年度

会長:高木一平 幹事: 柏木博喜 クラブ会報委員長:加藤智弘

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2017 April 26

■ 2016～2017年度方針
ロータリー 清く 正しく 面白く

NO.38

例会報告

●第2171回例会 平成29年4月26日(水) 雨

●4月は母子の健康月間

●ロータリーソング 四つのテスト

●出席報告 会員 100 名中 (88) 出席60名

出席率68.18% 修正出席率83.54%
(4月12日分)

●ゲスト紹介

ゲストスピーカー

公益社団法人 日本ペストコントロール協会

会長 平尾 素一氏

●ニコボックス

「本日、卓話者の平尾素一さんをよろしくお願ひします。」 坂倉弘康君

「ネタは無いけど、今日は件数が少ないので入れます。ニコbox委員長のかがみです。」 佐藤公俊君

本日のニコボックス 2件 4,000円

累計 135件 1,400,000円

柏木博喜幹事報告

▽5月のロータリーレート

5月のロータリーレートは、1ドル110円です。

▽当クラブ行事予定

・4月26日(水) 本日例会終了後、理事会を開催致します。

※理事及び役員のご出席をお願い致します。

・5月3日(水) 祝日のため、休会です。

・5月17日(水) 職場例会を開催致します。9時に名古屋テレビ塔北駐車場に集合

し、バスにて駒ヶ根に行きます。

※5月17日(水) ウェスティンナゴヤキャッスルでの例会はございません。

・5月24日(水) 2017～18年度第1回クラブアッセンブリーを開催致します。場所はウェスティンナゴヤキャッスル、時間は18時～です。

※2017～18年度の理事及び役員、各委員長のご出席をお願い致します。委員長ご欠席の場合は、代理の方のご出席をお願い致します。

・5月31日(水) 例会終了後、2016～17年度のクラブアッセンブリーを開催致します。

※理事及び役員、各委員長のご出席をお願い致します。委員長ご欠席の場合は、代理の方のご出席をお願い致します。

※クラブアッセンブリー終了後、理事会を開催致します。理事及び役員のご出席をお願い致します。

※本日、2016～17年度クラブアッセンブリーのご案内を配布しております。

高木一平会長挨拶

“誰も言わない日本の医療の問題点”

1) 暇で心配性の患者

日本の保険医療は保険料と自己負担金で賄われています。この二つを払えばどの医療機関に何回かかっても問題ありません。今、老人医療費や高額医療費の増大が問題になっていますが、無駄な医療費は暇で心配性の患者が軽い症状で頻繁に通院することからも生じています。これは誰も言わないのです。特に開業医はこのような患者から常に収入を得ているため、その代表の日本医師会は目をつぶっています。忙しく働き、軽い病気ぐらいでは病院に行けない人が払う保険料が、必要のない医療を受ける患者により浪費されています。実に不公平です。

2) 女性医師の増加

一昔前は女性医師の割合は1割以下でした。今は全体で2割、若い世代では3割を越えています。昔の女医は女性の幸せをあきらめ、男性医師と同様に働きましたが、今は当直なし、パートタイム、保健所、産業医などに流れ、実質的戦力は半分位でしょう。つまり1割の戦力が消失しています。これではいくら医学部の定員を増やしても焼け石に水です。これを言うとフェミニスト達に袋叩きに会います。

3) 医師の事務的雑務

医師の仕事は診療だけではありませんが、今の日本の勤務医は雑用が多すぎます。細かくは病状説明の書類作成、診療明細書の作成指導、生命保険の書類作成、大きくは院内のハード、ソフトへの関与、人事や雇用、経営的判断などです。欧米では医師にクラークや秘書が付くため、雑務は大幅に軽減されていますがその分トータルの医療費は高くなります。

4) 医師の専門科への不適切配分

医師は卒業後自分の希望する診療科に入れるので、人気のない科目には人が来ません。産婦人科、外科、小児科、救急医学などは仕事がつく、責任も重いので年々人が減っています。本来、科目毎に必要な医師数は決まっているので一部強制的な医師数配分をすべきです。昔滞在していたオランダでは科毎に定員があり、試験採用でした。

4. 家畜の伝染性疾病発生時の拡散防止対策

などです。いずれも地球温暖化やグローバル化が関係しています。1998年に110年続いた伝染病予防法が廃止となり、新たに感染症法が制定されました。今日の日本のような清潔な環境下ではもうハエや蚊など害虫による感染症の大発生はないだろうという判断で、行政の衛生班活動は廃止になりました。しかし、それから数年、地球規模のグローバル化と共に、危険な感染症が海外から突然持ち込まれ、蔓延する可能性が高まってきました。

当協会では2003-2004年にかけて、主に昆虫媒介性感染症が発生した場合の早期制圧を主たる目的とし、「感染症予防衛生隊」を各県協会で結成し、毎年研修会、トレーニングを重ねてきました。身近に発生するかもしれない昆虫媒介性感染症等に対する協会の活動を紹介しました。

- ・デング熱発生時の活動-感染症媒介蚊の駆除 (2014)
- ・蚊が媒介するジカウィルス感染症の拡大の可能性 (2016-)
- ・野外のマダニが媒介するSFTS (重症熱性血小板減少症) の増加 (2013)
- ・自然災害時に発生する害虫対策
- ・鳥インフルエンザ発生時の拡散防止対策 (2004-2017)

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-3-4

サンクス神田駅前ビル3F

公益社団法人日本ペストコントロール協会

Tel:03-5207-6321

<http://www.pestcontrol.or.jp>

卓 話

日本を狙う昆虫媒介性感染症と日本ペストコントロール協会の活動
公益社団法人日本ペストコントロール協会



会長 平尾 素一

当協会は内閣府から公益社団法人に認定され5年目を迎え、来年は創立50周年を迎える。約900社の害虫防除業者及び関連企業からなる団体です。ペストとは英語で「人間生活に害を与えるあらゆる有害生物」を表す英語で、「ペストコントロール」はこれら有害な生物を生活への支障のないレベ

ルにまで制御し、その状態を維持・管理すること」を示しています。主な業務は、各種公共施設、ホテル、レストラン、地下街、飲食店、大型スーパー、小売店、食品工場、一般住宅等での有害生物の管理であるが、近年もう一つの顔がクローズアップされてきました。

1. 輸入感染症発生時の迅速な制圧
2. 自然災害発生時の害虫の制圧・感染症の予防
3. 水害後の住宅内外の消毒

●第10理事会 (平成29年4月26日(水) 例会終了後
ウェスティンナゴヤキャッスル)

●5月度誕生日祝福

会 員

ご 夫 人

増田靖憲 君(5月2日)	佐藤公俊 夫人(5月5日)
黒田史郎 君(5月2日)	上村晋也 夫人(5月5日)
千住憲夫 君(5月3日)	高木一平 夫人(5月11日)
武藤茂樹 君(5月12日)	柏木順彦 夫人(5月20日)
松原忠久 君(5月20日)	マスクリ・ニート 夫人(5月31日)
稲川 久 君(5月24日)	
國分孝雄 君(5月25日)	
マスクリ・ニート 君(5月27日)	
吉田正道 君(5月29日)	

例会	月日	今後の予定
	5.3	法定休日(例会はございません)
第2172回	5.10	Focus Yoga Studio代表 大須賀 英恵さん 「体の『三法よし』を実現するヨガ呼吸法」

○このウィクリーは再生紙を使用しております。